

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月20日			
平成15年度	事業コード	15110	電話	042-754-3604
担当部課名	生涯学習部	図書館	奉仕	係
事務事業名	図書、資料等充実経費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	63以前年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

図書館法	相模原市立図書館条例	相模原市立図書館条例施行規則
------	------------	----------------

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

義務的経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
蔵書計画に基づき、図書資料の充実を図り、一般利用者への館外貸出し及び館内利用に供することにより、生涯学習の推進に資する。		一般市民	
		対象数	616,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
図書資料等の購入により資料の充実を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入図書冊数 9,530冊</li> <li>・ 蔵書冊数 314,000冊</li> <li>・ 貸出者数 270,500人</li> <li>・ 貸出冊数 722,000冊</li> <li>・ 登録者数 73,700人</li> </ul>			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	なし	なし	
計画年次	年度～	年度	

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	リクエスト本の蔵書率	リクエスト本のうち図書館が所蔵していた冊数÷リクエスト本の総冊数×100	蔵書が利用者の要求に適合しているかをみる	76	78	76	84	85
活動指標	蔵書回転率	貸出冊数÷蔵書冊数	蔵書の利用頻度を見ることにより、図書が効率的に利用されているかをみる	2	2	2	2	2

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	24,187	24,124	17,725	14,839	14,839
人員・時間数	5人	5人	5人	5人	5人
人件費	41,950	29,770	29,770	29,770	29,770
その他経費	0	0	0	0	0
合計	66,137	53,894	47,495	44,609	44,609
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	606,000	611,000	616,000	616,000	616,000
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明	貸出図書数が減少しているのは、橋本図書館の開館によるものと考えられる。			
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている			
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 図書資料の充実をはかり、図書資料を利用者への館外貸出及び館内利用に供する事は、生涯学習の推進に適応している。			
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C: 有効ではない					
		説明	図書館は、生涯学習機会の充実を推進するための場として重要である。			
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 本事業の費用対効果を考えると、図書館は、正規職員と利用相談員・非常勤職員・ボランティアによって運営されている施設であり、費用対効果は高い。			
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明	図書館法17条(入館料等) 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。			
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額			
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 図書購入費の有効かつ適正な執行を図るため、県内図書館ネットワークの有効活用を推進を図る必要がある		手段	なし		
			削減額	千円		

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		県内市立図書館60館の蔵書回転率(13年度数値)を見ると、横浜市都築図書館の7.75回・横浜市緑図書館の5.93回・横浜市磯子図書館の4.99回から南足柄市立図書館の0.61回・横須賀市立中央図書館の0.59回・小田原市立図書館の0.27回で平均は2.37回である。その中で、当図書館は2.46回で33番である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	生涯学習に対する関心の高まりや、市民の学習意欲に応えるための場として、当施設の果たす役割はますます重要なものとなっている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--